

3D形状計測研修

非接触3D表面形状測定装置は部品形状のCADモデルとの形状比較、不具合箇所の形状測定やリバースエンジニアリングなどの用途で高精度かつ高密度な測定が求められています。特に、小型の部品や金型では μm レベルの高精度な測定を要求されることが多くなっています。

生産技術アカデミーではこのたび、公益財団法人JKAの補助金を活用して、小型部品を対象に360°全周の形状も μm レベルの精度で高密度に測定でき、面粗さ評価も可能な非接触3D表面形状測定装置（ブルカー・アリコナ社製インフィニートフォーカスG5）とリバースエンジニアリングソフト（GeomagicDesignX）を導入いたします。

そこで、本研修では、新規導入設備の特徴や活用事例等を交えて紹介いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時 **令和2年1月17日(金)** 13:30~16:30

◆場所 広島県立総合技術研究所
西部工業技術センター 生産技術アカデミー (2F研修室・
実験棟1F精密測定室)
〒739-0046東広島市鏡山三丁目13-26 広島テクノプラザ内

◆対象者 企業の経営者又は従業員

◆受講料 無料

◆御準備いただくもの

測定を試したい対象物がございましたら、お知らせください。別途詳細をご相談させていただきます。

◆定員 10名程度(先着順)

◆講師

藤田 篤 氏

株式会社ユーロテクノ
営業チーム

玉木 香代子 氏

東京貿易テクノシステム株式会社
生産CS部 ソフトウェアグループ



【インフィニートフォーカス G5】

KEIRIN 00

❖ カリキュラム

13:30～14:30

非接触3D表面形状測定装置の紹介

講師：藤田 篤 氏

概要：ブルカー・アリコナ社のご紹介、並びに同社製非接触三次元測定機の原理やどのような測定を行うことが可能かを具体的な測定事例と一緒にご紹介します。

14:40～15:40

リバースエンジニアリングソフトの紹介

講師：玉木 香代子 氏

概要：履歴ベースのCAD機能と、3Dスキャンデータ処理機能を融合したリバースエンジニアリングソフトウェアの機能と事例を紹介します。

15:50～16:30

実習および西部・東部工業技術センター精密測定機器の紹介

講師：センター職員

概要：西部および東部工業技術センターが保有する精密測定機器について、それぞれの特徴用途について紹介します。また、新規導入設備のデモンストレーションを行います。

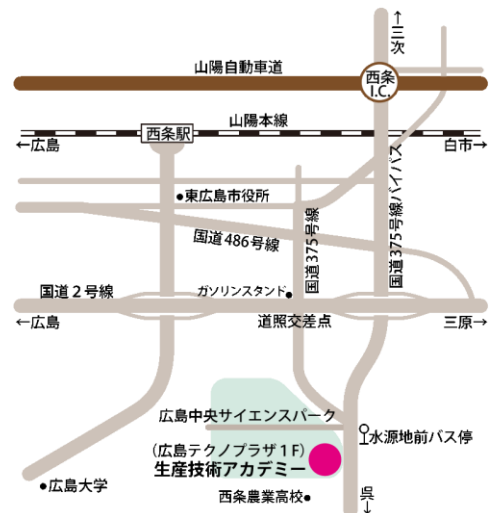
❖ 交通の御案内

公共交通：

山陽本線西条駅から、中国JRバス国際大学・呉方面行きで約20分、水源地前バス停下車。徒歩2分。
新幹線東広島駅からはタクシー以外の交通機関がありません。

自動車：

国道2号線から375号線呉方面に入り約2km。
山陽自動車道西条I.C.から約6km。
駐車場はございます。



❖ 申し込み及び問い合わせ先

申込書にご記入の上、**1月10日(金)**までに郵送にて下記宛にお申し込み下さい。

(郵送前にメールまたはFAXいただければ仮予約いたします)

後日、受講決定通知書を送付いたします。(申込者多数の場合、先着順とさせていただきますが、一社当たりの参加人数を制限させていただく場合があります。)

※ご記入頂いた個人情報は、研修運営上の目的に限り利用いたします。

〒739-0046 広島県東広島市鏡山三丁目13-26 広島テクノプラザ内
広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター生産技術アカデミー
Tel: 082-420-0537 Fax: 082-420-0539 (担当: 前田・久保田)
Mail: sgagijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

※申込書は、次のホームページからダウンロードをお願いします。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/28/training2019-3d.html>